



# JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟発行

1998年8月号

## 6月総会・20周年記念式典を羽田で開催

6月16日13時30分から16時まで、東京都の羽田空港ターミナルビル・ビッグバードのシリウスホールにおいて、1998年度6月総会を開催。正会員である各都道府県連盟の代表40名が出席(他の7名は委任状を提出)しました。



6月総会。補正予算を細くチェックする正会員。

議案は、1997年度JHF事業報告、97年度JHF会計決算、98年度JHF会計補正予算、そしてタンデム技能証規程の四つで、いずれも賛成多数で承認されました。議長は、埼玉県ハング・パラグライディング連盟の下山進さん。各委員会からの報告等も含め、ほぼ予定どおりの進行でした。詳細は、各県連盟にお尋ねください。

## タンデム技能証、今年度スタート

6月16日の総会で、タンデム技能証規程案が承認されました。

この規程は、ハンググライダー技能証規定及びパラグライダー技能証規定に基づいて制定されるもので、「それぞれ1名の同乗者を伴い飛行を行おうとする操縦者に対し、その安全性の確保に必要な知識と技能を審査し、判定し、その技能を証明すること」を目的としています。ハングまたはパラのタンデム技能証を持つパイロットは、離陸場所から5kmを超えない範囲で、タンデム飛行をすることができ、タンデム技能証を持つ教員または助教員の依頼を受けた

## 「JHF宮原賞」を制定

5月30日の理事会で「JHF宮原賞」の制定が決まりました。この賞は、日本ハンググライディング委員会の委員長として、またJHF初代会長として活躍された、故宮原旭氏の業績と功績を記念し、制定したものです。ハング・パラグライディングの技術面、学術面、精神面、組織面等において貢献された方々に、その労と業績をたたえて贈ります。賞の贈呈は、原則として年1回で、授賞人数は若干名。授賞者は、正会員または理事・委員会が候補者を推薦し、理事会で選考し決定することに。賞の基金は「JHF

総会后、16時30分から18時30分まで、同じ階のギャラクシーホールで、(社)JHF 20周年記念式典を開催。来賓、正会員、委員、役員、事務局員、その他の関係者、約100名が出席し、JHF 20周年(前身のJHC発足から数えて)を祝いました。

文部省体育局生涯スポーツ課、課長補佐の窪田修氏、運輸省航空局レジャー航空室長の谷寧久氏、(財)日本航空協会航空業務室長の角田正夫氏から祝辞をいただき、また、(社)日本滑空協会の会長、東昭氏に乾杯の音頭を取っていただいたのをはじめ、多くの方々が、JHFに暖かい言葉をくださ



20周年にカンパニー!! これからもよろしく。

いました。20周年を無事迎えられたのも、このような周囲の理解と協力があつたからこそ。そして、JHF以前から組織の基礎作りに尽力してこられた方々のことを忘れてはならないでしょう。

## 20周年記念誌「翼をひろげて」発行

JHC-JHF20年の歩みと、JHFの活動内容等を記した「翼をひろげて」ができました。一般の方々に連盟の動きを理解してもらうのに、もってこいの内容です。希望者に無料でさしあげますので、ぜひハング・パラグライディング振興に役立ててください。申し込みは、切手160円(1部の場合)を添えてJHF事務局へ。



場合は、指定されたタンデム練習生の飛行を監督することも可能です。

タンデム技能証の申請資格は、申請日までに満20歳になっていること、ハングフライヤー登録が有効であること、パイロット技能証を持っていること、タンデム実技と学科の検定に合格することなど。

規程案は承認されましたが、実際に検定を行い、技能証を発行するには、さまざまな準備が必要。今年度内の実施をめざして作業中なので、ぜひタンデム技能証を取ってバリバリ2人乗りをしたい!という方は、もう少しお待ちください。

宮原賞基金」とし、有志による寄付金、JHFの助成金でまかなう予定。

宮原旭氏は、明治37年、静岡県に生まれました。英国グラスゴー大学で航空工学を研究。戦前は貴族院議員。戦前・戦後を通じて小型飛行機、グライダーなど数多くのスポーツ機を設計。アマチュア自作航空機の振興を促し、自作航空機連盟設立をはじめ、航空スポーツ団体の全国規模組織化を提唱。スポーツ航空に関し、技術面・精神面・組織面すべての基礎を築かれました。また、ハンググライディングの普及振興と

## 空のかお

その11



早坂 真有美(はやさかまゆみ)さん  
空にあこがれていた彼に誘われて、パラグライディングを始めた。いつのまにか自分ものめりこみ、毎週末はエリアで過ごす生活になる。少しでも長く、高く飛べたいという彼女の夢は、彼の赴任地である香港のエリアを二人で飛び回ること。いつでも明るく前向きなフライトでパイロット証取得も、もう目の前だ。千葉県在住。

全国的組織の設立に尽力。FAIの会議にも出席し、世界への道すじを拓くなど、多大な功績を遺し、1983年に他界されました。

## ホームページの正式運用開始

JHFホームページのあり方を検討してきた、ホームページ検討会は、5月30日にオンライン会議（実際に集まったの会議）を行いました。話し合いの結果、検討会は「インターネット専門委員会」と名称を変更し、広報出版局に所属する専門委員会として、JHFのホームページ運営実務を行うことになりました。委員は次のとおり。  
内田孝也、金高仁史、清貞夫、日下部博、小林秀彰、松本浩三、山田房子、小林朋子（理

事）岩間雅彦（理事）、松田保子（理事）、インターネット専門委員会の発足とともに、JHFのホームページは正式運用を開始。近日中に、以下のフライヤー向け情報を新しく掲載します。  
各種検定会情報  
申請用紙フォーム集  
CIVLパイロットランキング資料  
HG及びPGのポイント情報&ポイント大会情報へのリンク

パイロット及び教員の登録番号と氏名のリスト  
HG・PGの都道府県別エリア一覧  
この他、一般向けに以下を制作中。  
JHFのしおり  
ハンググライディングABC  
また、正式運用に伴い、アドレスが新しくなりました。今後は次のアドレスへ。  
<http://jhf.skysports.or.jp/>

## 委員会の動き

今春の委員改選によってリフレッシュした五つの常設委員会は、それぞれの目標に向かって積極的に活動しています。5月29日の委員総会で選ばれた5人の委員長に、今期の抱負などを語ってもらいました。フ

### PG競技委員会 岡 良樹

これまで我々は世界の大会で勝負ができる選手を生み出すにはどうしたらいいかを考え、ポイントシステムルールを作り、大会を行ってきました。その結果、選手自身の向上心と多くのポイント大会を開催するオーガナイザーのおかげで、やっと世界のレースで互角に戦うことのできる選手が数名誕生するところまで来ました。しかしながら一方、ポイントシステムの大会がマニアックなエリートのみのものであり、気象

ライヤーを代表して、さまざまな問題に取り組む委員の皆さんを、ぜひ応援してください。

JHFレポート次号からは、各委員会の動きを毎月お知らせしていく予定です。

条件のきついときでもフライトせざるを得ない、あるいは市販機に乗っていたのでは全く歯が立たないといった状態になってしまいました。その結果、ポイント大会の参加選手が減少する傾向が昨年から見られるようになりました。そこで今年からはもっと広い層のフライヤーにも楽しく参加してもらえる大会をやりたいと、SPS（スポーツパラグライダーシリーズ）のルールを作り試行しています。



岡委員長を中心に、田中美由喜さん（左）が副委員長。

もちろんポイントシステム大会も必要なので、世界を目指すパイロット達を中心とした、とんがった大会として、年間スケジュールを決めたシリーズ戦として行う方向で考えています。新しい委員を迎え、新しい視点からの発想に期待してください。

### HG競技委員会 大澤 豊

今年度のハンググライディング競技委員会の活動計画をお知らせします。

1. 1998年1月に改訂したポイントルールブックの、規定・規則を全面的に見直す。

8月までに委員会の意見統一、9月に公示、そして意見・要望を募り、それらを10月中にまとめ、11月に公示。99年1月1日から運用開始...という計画です。主な見直し項目は、大会成績計算式、ポイント計算式、海外大会成績計算式、競技規定、日本

選手権規定など。また、ルールブックに規定されていない、セクター判定や減点等の基準を統一して盛り込む予定。

2. 大会の案内や結果、ランキングリストなど、最新情報が得られる「HG競技委員会ホームページ」の運用を開始する。

3. 99年3月に広島県神ノ倉エリアで行われるHG日本選手権に委員を派遣し、支援を行う。

以上です。ご協力をお願いします。



中央が大澤委員長。国際大会事情に詳しい委員達と。

### 教習検定委員会 島野 広幸

今年も昨年と同じ顔ぶれで委員会を運営します。全委員が向上心を持っています。

教育活動にありがちな、『まんねり』や『な〜な〜』的な要素をうまく切り捨て、逆に過去の活動からの反省点を生かし今年の行事をより効果的なものとしていきます。

やはり活動の一番大きな柱は、JHF教員研修検定会です。教員として活躍してもらう方には、必ずある一定以上のレベルが必

要です。そのレベルがぼんやりとはありますが、見えてきました。一人でも多くの方がそのハードルを越えられるようにサポートするのが我々委員会に与えられた大きなタスクです。今年の教員研修検定会では、新たにグループトレーニングを取り入れ合格率のアップを図ります。初めての試みで相当なエネルギーも必要としますが、安全で楽しいスカイスポーツの更なる発展を目指してこの企画にチャレンジします。



島野委員長を囲んで今期もやるゾと張り切る面々。

### 制度委員会 小林 秀彰

制度委員会とは「フライヤーのためのフライヤーの組織」を大前提に現行の制度の見直しと新しい制度の発案、調整を行っていく委員会だと考えています。委員全員やる気を持って立候補してくれたメンバーです。本年は予算が少なく、全員そろっての会議が2回くらいしかできません。そこで、電子メール、FAX等を利用した会議を行っ

ていきます。

2年かけての活動目標をあげておきます。

委員会運営規定案の作成（委員会活動を行っていく場合、指針となる文書がない。）

規定集の作成（現在進行中。将来はパイナダー形式で更新できるようなものに仕上げると。）

セーフティーアワード制度の新設（USA



小林委員長（中央）をはじめ、委員一同「やる気」。

で実施されている無事故フライヤーの表彰制度の研究と制度化案)

トーイング技能証の検討(トーイング技能証の研究と制度化案)

#### 補助動力委員会 山崎 勇光

5月号でお知らせした活動方針同様に、  
1. 第2回 MPG 日本選手権の開催。  
2. モーターハング用学科問題集の制作。  
3. MPG フライヤーの連帯性の構築およびフライトモラルの向上。  
の、3つの方針を柱に活動してまいります。特に、平地からテイクオフできる最大の特徴をいかし、一般の人たちに空を正しく理解してもらうこと。より身近なスポーツとして感じてもらうことが必要です。

クロスカントリー技能証の再検討(現行規定の問題点の抽出と見直し)

補助動力練習生技能証の再検討(現行規定の問題点の抽出と見直し)

長年、空と共に生活して思うのは、一般の人には、フライヤーが常識とされていることが、驚くほど違ったかたちで考えられていることです。たとえば、いまだにハング・パラは、高い山から離陸して、平地に降りるだけ、と思っている人が、いかに多いか! 皆さんも実感しているでしょう。平地から飛び立てるMPGには、そのギャップを埋める力があります。頑張りたいと思います。

2000年の普通会員会費制度が確立した場合の都道府県連盟のあり方の検討



山崎委員長(上)と委員が一丸となって頑張る。

## 日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)議事録

1998年度第2回委員会  
日時: 1998年5月21日(木) 13:00 ~ 17:00  
場所: 航空会館6階602会議室  
出席委員: 阿部郁重、斎藤 紀、岡 良樹、下山 進、幸路尚文  
委任状: 小宮國男、松田光平  
オブザーバー: 渡邊敏久、鈴木康之  
機体登録申請者: ファルホーク株式会社  
技術部会(型式登録審査)  
パラグライダー新規登録  
・DAE KYO式 EDEL SABER XS型  
(保留: 荷重試験報告書が到着し次第合格)  
・DAE KYO式 EDEL ATLAS XS型

(保留: 荷重試験報告書が到着し次第合格) 定例委員会  
1. プロトタイプ・パラグライダーの登録規定について  
前回承認されたプロトタイプ・パラグライダー型式登録規定案の最終稿を、阿部委員長が提出し、5月21日付で施行することに決定(下記)。登録申請書に添付する搭乗同意書は岡委員の書式案が採用された。  
2. 破断カラビナの検査報告  
下山委員が、折損したカラビナの破断面の顕微鏡検査報告書を配布、補足説明を行った。この報告書はJHFレポートに掲載

し、雑誌「パラワールド」にも転載されることになった。  
3. 事故調査資料の翻訳について  
英国ハング・パラグライディング協会の資料「INCIDENT REPORTING AND ACCIDENT INVESTIGATION」(BHPA Technical Manual SECTION 1, Chapter 5) が配布され、幸路委員を主務として和訳することになった。  
4. 引張強度試験機について  
パラグライダー工業会が製作した試験機が供覧され、これに関する問い合わせはJHSC事務局が窓口となることで合意。

### プロトタイプ・パラグライダー登録規定 日本ハンググライディング安全性委員会

1. 総則  
1-1 目的  
このプロトタイプ・パラグライダー登録規定(以下、「登録規定」と略す)は、プロトタイプ・パラグライダーについて、限られた範囲の安全性を確認し、公認大会への参加を可能にするために制定する。  
1-2 定義  
ここでいうプロトタイプ・パラグライダーとは、量産に入る前の試作機及びレース用に加工されたパラグライダーである。  
1-3 適用範囲  
この登録規定は、販売用パラグライダーには適用されない。  
2. 運用制限  
この登録規定に基づいて登録された型式においては、その機体に搭乗することを登録申請者及び搭乗者が同意し

たときのみ運用できる。  
3. 型式の登録  
3-1 登録申請  
この登録規定に基づいて型式を登録するには、別紙1「プロトタイプ・パラグライダー型式登録申請書」に以下の資料を添えて、日本ハンググライディング安全性委員会(以下、「JHSC」と略す)に申請する。  
(1) 必要な強度を有していることを証明する以下いずれかの資料  
ア. 簡単な強度計算書とその精度を申請者が証明する部分試験、その他のデータ  
イ. 荷重試験に合格した機体と同じ材料と製法で試作されたことを証明する資料  
(2) 飛行試験報告書  
JHSC 制定、「パラグライダー製造基準」に規定された「飛行試験報告書」に準拠し、コンペティション・クラスに合格したことを証明する資料

(3) 諸元表及び運用限界ステッカー  
(4) 申請者と搭乗者の同意書  
3-2 表記  
型式名称の末尾に「プロトタイプ」と表記する。  
3-3 審査と登録  
JHSCは、前項の申請に基づいて審査会を開き、この登録規定への適合性を審査し、合格した型式を登録原簿に記載し、登録番号を付与する。  
3-4 登録証明書  
登録された型式については、申請者に対し、別紙2「プロトタイプ・パラグライダー型式登録証明書」が発行される。  
3-5 登録料  
登録料は、1件につき1万円とする。  
4. 実施  
この登録規定は、1998年5月21日より実施する。

## 総合改革委員会から

5月29日に中野サンプラザで第6回の、6月15日に新橋のスペースラインで第7回の(社)JHF 総合改革委員会を開きました。会員管理の業務代行や、スポーツ賠償責任保険について学習し、普通会員費の内訳

について具体的に検討。また、事務局の規模、使命、業務内容等について、それぞれ意見を出しあいました。会費制度をはじめ、さまざまな問題のアウトラインが、はっきりしてきたところです。

改革委員会は、フライヤーの皆さんのご意見を待っています。JHF事務局に気軽にFAXしてください。  
FAX.03-3597-0245

# 大会開催予定(1998年6月24日現在)

PS:ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。) 参加資格 XC:クロスカントリー証 P:パイロット証 NP:ノービスパイロット証 B:B級練習生参加可 会員:都道府県連盟に属する者



| 区分  | 大会名  | 日程       | 開催地           | 参加資格 | 参加費     | 締切   |
|-----|--|----------|---------------|------|---------|------|
| 公認  | 第19回岩木山スカイマスターズ'98 PG選手権   | 8/1・2    | 青森県中津軽郡岩木町岩木山 | P    | 6,000円  | 7/26 |
| SPS | 〒036-8227 青森県弘前市桔梗野5-6-12 古川正司 TEL.0172-37-6768                      |          |               |      |         |      |
| 公認  | パラグライディング'98 十勝太スピードレース  | 8/8・9    | 浦幌町黄金の滝エリア    | P・NP | 5,000円  | 8/1  |
|     | 〒085-0045 北海道釧路市住之江町11-2604 TEL.0154-23-5221                         |          |               |      |         |      |
| 公認  | スキージャンプカップ   | 8/14・15  | 福井県スキージャンプ勝山  | P    | 10,000円 | 8/3  |
| SPS | 〒911-0854 福井県勝山市第170号70番地スキージャンプ勝山内 スキージャンプカップ実行委員会 TEL.0779-87-6311 |          |               |      |         |      |
| 公認  | '98 立山らいちょうバレーカップ第二戦   | 9/12・13  | らいちょうバレースキー場  | XC   | 20,000円 | 8/31 |
| PS  | 〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL.03-3608-8626                          |          |               |      |         |      |
| 公認  | しらたかパラグライダーカップ   | 10/3・4   | 山形県白鷹町白鷹スキー場  | XC   | 12,000円 | 9/23 |
| PS  | 〒999-3233 山形県上山市三本松126-19 しらたかshop内 しらたかPGカップ実行委員会 TEL.0238-87-2500  |          |               |      |         |      |
| 公認  | '98 Cooパラグライダーオータムカップ  | 10/10・11 | 茨城県新治郡八郷町     | XC   | 20,000円 | 8/31 |
| PS  | 〒315-0157 茨城県新治郡八郷町大字上曾1698-1 TEL.0299-44-1408                       |          |               |      |         |      |



|     |  |         |                |      |                             |      |
|-----|--|---------|----------------|------|-----------------------------|------|
| 公認B | '98 HG 阿波踊りスカイオープン   | 8/12~16 | 徳島県勝浦フライトパーク   | XC   | 25,000円                     | 7/25 |
| PS  | 〒770-0025 徳島県徳島市佐古5番町9-3 徳島県ハンググライディング連盟 大会実行委員会 TEL.0886-52-3073    |         |                |      |                             |      |
| 公認B | '98 NASA STUDENT CUP   | 8/24・25 | 茨城県足尾山エリア      | B    | 4,000円                      | 8/10 |
|     | 〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋576-1 HGショップNASA内 大会実行委員会 TEL.0299-43-0893      |         |                |      |                             |      |
| 公認B | 20th.日本マスターズハンググライディング大会   | 8/28~30 | 長野県茅野市車山高原     | P    | 10,000円 <small>学生半額</small> | 8/20 |
| PS  | 〒391-0301 長野県茅野市北山 車山スカイゲート 車山HGスクール TEL.0266-68-3575または0465-63-0173 |         |                |      |                             |      |
| 公認B | ハンググライダー・奥羽ラリー選手権'98   | 9/12~15 | 秋田県十の瀬山・青森県岩木山 | P(C) | 16,000円                     | 9/1  |
| PS  | 〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字長者森23-7 小松園悦(実行委員長) TEL.0186-48-2319             |         |                |      |                             |      |

## パラグライディング日本選手権、迫る。

8月15日から23日まで、長野県高井郡高山村の山田温泉スキー場で、98年度パラグライディング日本選手権が開催されます。90名の選手が参加し、日本一の座をめざして技を競う予定です。ちょうど夏休みだと

いう人も多いでしょう。観戦がてら、信州の自然に親しむというのは、どうですか。

昨年度日本選手権は、気象条件に恵まれず不成立。今年こそ、たくさん飛べる日本選手権になりますように!

## 理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

JHFレポートは、これまで理事会の議事録に一部補足したものを掲載してきました。理事会がどんなことを審議しているか、フライヤーの皆さんに知ってもらいたくはありますが、正直いってわかりにくいものでした。そこで、今号からは理事会で取りあげたこと、決定したことなどのポイントをお知らせすることにしました。理事会議事録は、正会員(各都道府県連盟)に送付されるので、必要な方はそちらをご覧ください。

5月理事会(5月30日 中野サンプラザ)・6月総会を前に、審議が一番時間がかかったのは、98年度補正予算の件。なにしろ申請料等の収入がガタッと落ち込んでいるのだから、しっかり節約しなければなりません。朝日事務局長の案から、さらに各方面の予算をバツサリ減額。予算が減っては、事業計画も見直す必要ありますが、後ろ向きにならず、いろいろ工夫して前向きにやっつけていこう!ということになりました。・JHFの基礎作り貢献された宮原旭さんの功績を記念した「JHF宮原賞」の制定を承認。(1ページに記事あり)

・JHF顧問会規程と、名誉会長・名誉顧問・顧問の選任規定案を承認。理事会で推薦し総会で選任された方が、これらの職につくことに。JHFの組織運営にたずさわった役員や外部の有識者の経験や知識を、JHF活動に生かそうというのが狙い。今のところ、具体的な候補者名はあがっていません。・ハンググライディング女子世界選手権に日本代表選手として谷古宇瑞子さんが参加することを承認。チームリーダーは大門浩二さん。8月10日から23日まで、ハンガリーでの開催。テイクオフはトーイングで。谷古宇さんの活躍に期待しましょう。

6月理事会(6月16日 羽田ビッグパード会議室)・総会と20周年記念式典の前の、あわただしい理事会になりました。まずは、朝日事務局長が練り直した98年度補正予算案について審議し、全員一致で承認。これが午後の総会にかけられ、承認されました。・郵政省からの補助金交付が決まり、その補助金を「JHFスカイレジャー専用無線機の利用によるスカイスポーツの安全対策と活性化」にあてる件について。具体的な動

きを常任理事会で検討することになりました。今後のお知らせにご注意ください。・日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)の委員候補があげられ、これを承認しました。ただし、委員の中にハンググライディングの現状に詳しい人がいないため、専門委員会等でハング関係者の声を聞いてほしいという理事会からの意見付き。JHSC新委員は、阿部郁重、斎藤紀、野口常夫、岡良樹、小宮國男、泉秀樹、下山進、幸路尚文の各氏。委員長は阿部さん。・現在の理事と監事の任期は、1999年3月31日まで。次の役員も選挙で決められるわけですが、まだ選挙管理委員会のメンバーが決まっていません。そこで、7月15日の次回理事会までに、理事が委員候補をあげることになりました。この日の総会でも、委員候補の推薦を正会員に呼びかけることに決定。・日本航空協会から権限を委譲された、FAI国際技能記章は、交付に向けて準備中。関谷理事が中心になって、実施のたたき台を作っているところです。これは、7月理事会の審議事項になる予定です。

| 種 類           | 検 定 日     | 時 間           | 開 催 場 所              | 主 催 ・ 連 絡 先                   |
|---------------|-----------|---------------|----------------------|-------------------------------|
| P・NP          | 8/1 (土)   | 16:00 ~ 20:00 | 長野県下高井郡 SET木島平       | SET 木島平 TEL.0269-82-4100      |
| NP            | 8/1 (土)   | 19:00 ~ 20:30 | 新潟県南魚沼郡 上越PGスクール     | 上越PGスクール TEL.0257-83-3802     |
| P・NP・XC       | 8/1 (土)   | 16:00 ~ 18:00 | 長野県北安曇郡              | JMB白馬PGスクール TEL.0261-72-7470  |
| P・NP・XC・HG・PW | 8/2 (日)   | 18:00 ~ 20:00 | 神奈川県横浜市 神奈川県民センター    | 神奈川県連盟 TEL.0460-3-5391        |
| P・NP・XC       | 8/2 (日)   | 10:30 ~ 17:00 | 北海道虻田郡 JMBルストツPGスクール | パラグライダー北海道 TEL.011-892-6822   |
| P・NP・XC・HG    | 8/2 (日)   | 19:30 ~ 20:30 | 長野県茅野市 車山HG・PGスクール   | 車山HG・PGスクール TEL.0266-68-3575  |
| NP            | 8/2 (日)   | 17:00 ~ 18:30 | 群馬県利根郡 丸沼高原フルツPGスクール | フルツPGスクール TEL.0278-58-3990    |
| NP            | 8/8 (土)   | 17:00 ~ 18:30 | 静岡県熱海市 パラフィールド       | ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866    |
| P             | 8/8 (土)   | 17:00 ~ 20:30 | 新潟県南魚沼郡 上越PGスクール     | 上越PGスクール TEL.0257-83-3802     |
| P             | 8/22 (土)  | 17:00 ~ 18:30 | 静岡県熱海市 パラフィールド       | ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866    |
| P・NP・XC       | 8/22 (土)  | 15:30 ~ 17:30 | 長野県北安曇郡 白馬PGスクール     | EL'S白馬PGスクール TEL.0261-72-6022 |
| P・NP・XC       | 8/30 (日)  | 9:00 ~ 12:00  | 熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド    | 阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196   |
| NP            | 9/5 (土)   | 16:00 ~ 18:30 | 茨城県新治郡               | 新治こまちPGスクール TEL.0298-62-5355  |
| P・NP・XC・HG・PW | 9/8 (火)   | 17:00 ~ 20:30 | 神奈川県横浜市 東戸塚地区センター    | ヨコハマスカイスポーツ TEL.0460-3-6958   |
| XC            | 9/12 (土)  | 17:00 ~ 19:00 | 岡山県阿哲郡 SET 大佐山       | SET 大佐山 TEL.0867-98-3400      |
| NP・XC         | 9/12 (土)  | 17:00 ~ 18:30 | 静岡県熱海市 パラフィールド       | ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866    |
| P・NP・XC       | 9/20 (日)  | 17:00 ~ 19:00 | 群馬県群馬郡 榛名町PGスクール     | 榛名町PGスクール TEL.0273-74-4252    |
| P・NP          | 9/26 (土)  | 16:00 ~ 18:00 | 山梨県南都留郡 富士五湖PGスクール   | (株)オーパルスリー TEL.0555-76-7771   |
| P・NP・XC       | 9/27 (日)  | 9:00 ~ 12:00  | 熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド    | 阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196   |
| P             | 10/3 (土)  | 15:00 ~ 17:30 | 茨城県新治郡新治村            | 新治こまちPGスクール TEL.0298-62-5355  |
| P             | 10/10 (土) | 17:00 ~ 18:30 | 静岡県熱海市 パラフィールド       | ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866    |
| NP            | 10/24 (土) | 17:00 ~ 19:00 | 岡山県阿哲郡 SET 大佐山       | SET 大佐山 TEL.0867-98-3400      |
| P             | 10/24 (土) | 17:00 ~ 18:30 | 静岡県熱海市 パラフィールド       | ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866    |
| P・NP・XC・HG・PW | 10/25 (日) | 18:00 ~ 20:00 | 神奈川県横浜市 神奈川県民センター    | 神奈川県連盟 TEL.0460-3-5391        |
| P・NP・XC       | 10/25 (日) | 9:00 ~ 12:00  | 熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド    | 阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196   |

## 理事からひとこと

副会長 川添 喜郎

20周年記念祝賀会が盛会に開催され、たくさんの方の参加を頂きました。公益法人の確立を内外に示せた事。節目に私達の活動の方向性を確認する良い機会となりました。省庁の評判も良く、記念誌「翼をひろげて」は各県自治体に働きかける良い資料となるでしょう。

98年度補正予算案が承認されました。各予算大幅な削減。もともとJHFはボランティア活動で始まり、私が10年前JHFに関係し始めた頃は皆手当なしでした。20年の歴史は過去の委員・役員さん達のボランティア活動により築き上げられてきたと言えます。

総合改革委員会は委員さんの熱意で夜遅くまで討議。会費制度の構想が他の諸問題と関連し少しずつ形となりつつあります。

常任理事 事務局長 朝日 和博

7月に入り、いよいよ本格的に本年度の事業が動き出しております。6月の総会で本年度の補正予算が決まりました。残念ながら下方修正をせざるを得ませんでした。しかしながら、その貴重な予算をフライヤーの為に有効に活用して行くよう努力致します。特に各委員の方々には献身的な努力をしていただいております。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

常任理事 岩間 雅彦

新生制度委員会の第1回めの会合が5月29日に開かれ、小林秀彰氏が委員長に選出されました。また、「フライヤーのための制度と組織作り」を目標として、委員会運営規定案の作成、規定集の作成、セーフ

ティアワード制度やトレーニング技能証、会費制度が確立した場合の都道府県連盟規約などについて、自発的に検討していくことを決定しました。クロスカントリー技能証や補助動力練習生技能証の再検討も行っています。

制度委員会は、委員の数もふえ、今まで以上に意欲的な活動が期待されます。

理事 星野 納

全国47都道府県連盟におけるMPG活動に関するアンケートに引き続き、今度はMPGフライヤー個人に活動アンケートを実施しました。こちらの方はかなりの回収率で、現在もばらばらと返信が寄せられています。同時に各地のMPGエリアールの収集も進んでおり、それらはいずれ基本フライートルールとしてまとめる予定です。

過去2回のアンケート調査で分かったことは、県連単位では、県内外のMPGフライト活動を十分に把握している連盟が少ないこと、逆に県連に加入しているMPGフライヤーも極端に少ないということです。このままでは増加傾向にあるMPG活動に対する統制と連帯が、ばらばらになる怖れがあります。今後は補助動力委員会がある程度、県連を飛び越して直接MPGフライヤーに働きかけ、フライトモラルの構築や将来のMPG活動に対する連帯感を高めていく必要が生じています。

この記事を読み「個人対象フライトアンケート」をお手元をお持ちの方は、締め切りを設定しませんので、何とぞご投函ください。と、言っても残念ながら、MPGフライヤーにとってこのJHFレポートは、ほとんど目の届かない存在であるのが現状のよ

うです。早い時期に全フライヤー登録者にJHFレポートが配付されることを期待しています。

理事 小林 朋子

JHF20周年の祝賀会には多くの方がご出席くださいました。私にとっては、これまでのJHFの歴史を知る良い機会となりました。今後もフライヤーのための活動をささえるために力をつくしたいと改めて思いました。

我が家のパソコンは、本体が故障して現在修理中です。JHFの仕事もはかどらなくてつらいです。特に、海外とのやりとり(国際大会のエントリーや詳細の入手、CIVLの連絡等)は、ほとんどインターネットを使うので困ります。借り物のノートパソコンで急場をしのいでいる状態で、一日も早く本体が戻ってくれますように...

理事 松田 保子

多くの皆様のご協力を得て、20周年記念誌を発行。ホツとしたのも束の間、すぐにJHFレポート8月号の準備に。頑張っただけで、あれもこれもできていないと、不満がたくさん残ります。特にフライヤー以外の、一般の人たちやマスコミへの働きかけが不足。いまだに、ハングライダーとパラグライダーの区別がつかない人がたくさんいたりして、まずいです。

フライヤー向けの情報はもちろん大切ですが、一般向けの情報発信を、もっとしっかりせねばと思う、今日この頃です。

...と、書いているそばから、JHFレポートの原稿到着が遅れ、今号は記事が少なくなってしまうました。申し訳ない!

## これからのJHFレポート

先日、東京の羽田空港ビルで、JHC-JHF 20周年の記念式典を開きました。20年といえば、ふた昔。振り返ってみると、いろいろな変化がありました。パラグライダーの出現という「大事件」があり、多くの人々の力がJHFの社団法人化を実現。機体性能や飛行技術はグーンと向上。フライヤーも、ここのところ伸び悩んでいるとはいえ、20年間にかなりふえました。嬉しいことに女性の割合が増し、今ではフライヤーの4人にひとりが女性です。

変わっていないこともあります。それは、情報の大切さ。安全飛行のための常識がほとんど知られていなかった時代、フライヤーは文字どおり「体をはって」ノウハウを身に付けました。欲しい情報が手に入らなかったのですから、しかたありません。後になって大笑いした失敗もあれば、帰らぬ人となった仲間もいます。現在は、

ありがたいことに、安全に練習する方法が確立され、フライヤーは、まず情報という衣をまとってから、風に向かうことができます。

JHFレポートは、連盟の活動内容をフライヤーに知らせるためのものですが、それだけではなく、フライトに厚みが出るような、さまざまな情報を盛りこんでいきたいと考えています。安全のための情報はもちろん、もっと楽しく読める記事も必要でしょう。フライヤーが参加するページも欲しいし、写真も多く載せたい...ページ数(予算)の都合で、すぐに実現することはできませんが、少しずつ進んでいこうと思います。どうぞ応援してください。

JHFレポートへのご意見・ご要望は、いつでもJHF事務局にFAXしてください。お待ちしております。

広報出版局 松田保子

## カレンダー 8月～11月

詳細は各県連にお問い合わせください。予定が変更になることもあります。

秋田県ハング・パラグライディング連盟  
 8月?日 秋田県PG選手権国見岳大会  
 23日 PG & HG 無料体験講習会  
 9月?日 秋田県HG選手権十ノ瀬大会  
 ?日 鳥海山フライイン(HG)  
 10月?日 虚空蔵山フライイン(HG)  
 ?日 紅葉まつりカップ(HG)  
 福島県ハンググライディング連盟  
 8月1・2日 猪苗代PGカップ  
 29・30日 東日本PGスカイフェスティバルIN 田村富士  
 9月12・13日 高杖カップPG大会  
 10月17・18日 熱塩加納村長杯PG大会  
 24・25日 あぶくま洞オープンカップHG大会  
 静岡県フライヤー連盟  
 11月14・15日 PGフェスティバルIN 東伊豆(静岡県カップ)

三重県フライヤー連盟  
 10月?日 MPG体験飛行会  
 11月?日 PG体験会  
 ?日 教員・助教員勉強会  
 富山県フライヤー連盟  
 9月?日 講習会(技術系)  
 10月?日 PG県選手権  
 ?日 体験教室  
 11月?日 HG県選手権  
 ?日 講習会(気象)  
 石川県フライヤー連盟  
 8月7～10日 スカイグランプリ  
 10月10～13日 デサントバードマンカップ  
 香川県ハンググライディング連盟  
 10月?日 体験講習会  
 11月?日 連盟公認HG大会  
 福岡県ハング・パラグライディング連盟  
 8月?日 PGフェスタin 皿倉  
 ?日 助教員検定会  
 10月?日 県連主催PG競技会(そよ風フェスタin 岡垣)  
 11月?日 耳納の市協賛(HG・PGフライトフェスタ)  
 佐賀県ハング・パラグライディング連盟  
 10月?日 理事会

## 大会報告

### 98 第13回全日本ハンググライディングレディースカップIN 南陽

5月1日～3日 山形県南陽スカイパーク  
 1位 小間井みゆき 1000点  
 2位 竹内 真弓 588点  
 3位 藤沢 真佳 477点  
 4位 尾見 京子 472点  
 5位 古木裕紀子 465点  
 6位 木島理恵子 464点

エリア内に設けたパイロンを利用して、ショートタスクを。5月2日、前半はシブいコンディションだったが、後半はよくなって、スピードレースになった。

### 第14回 池田山スカイフェスティバル(HG)

5月2日～5日 岐阜県池田町池田山エリア  
 1位 今嶋 功 鳥取県 1272点  
 2位 藤田 直己 東京都 1246点  
 3位 鈴木 博司 三重県 1128点  
 4位 大門 浩二 秋田県 1076点  
 5位 兵庫 國夫 大阪府 1010点  
 6位 板垣 直樹 茨城県 956点  
 7位 村松 学 茨城県 954点  
 8位 三浦 健二 大阪府 946点  
 1日め・2日めは雨。3日めにやっと晴れ、サーマルコンディションの最高の日となり、14名が設定距離をクリア。最終日は曇り空だったが、吸い上げでなんとか大会が成立した。

### 鳴倉カップ(PG)

5月9日・10日 新潟県小出町鳴倉山エリア  
 1位 川地 正孝 神奈川県 1000点  
 2位 長島 信一 埼玉県 897点  
 3位 岩瀬 茂寛 愛知県 708点  
 4位 水沼 典子 栃木県 567点  
 5位 松本 一郎 石川県 337点  
 6位 山下 敏雄 石川県 297点

9日はゴール2名だったが、他の選手の距離がのびず、また写真ミスもあり、30km級の条件をクリアできなかった。残念。10日は、鳴倉山エリアにはめずらしい強風となり、競技キャンセルに。

### 1998年パラグライダー尾神カップ

6月6日・7日 新潟県吉川町尾神岳エリア  
 総合 1位 扇澤 郁 1000点  
 2位 清 貞雄 914点  
 3位 西ヶ谷一志 902点  
 4位 日野 政浩 888点  
 5位 鈴木 恵司 862点  
 6位 大澤 行英 859点  
 女子 1位 高林小百合 549点  
 2位 山本富士美 537点  
 3位 佐藤 明美 473点

### JHF 技能証発行数(1998年6月30日現在)

|            |       |        |           |         |        |
|------------|-------|--------|-----------|---------|--------|
| ハンググライディング | P証    | 4,665  | パラグライディング | P証      | 16,776 |
|            | C証    | 6,583  |           | NP証     | 6,941  |
|            | B証    | 11,068 |           | 補助動力NP証 | 56     |
|            | A証    | 10,453 |           | B証      | 37,145 |
|            | 補助動力証 | 18     |           | 補助動力B証  | 115    |
|            | XC証   | 1,000  |           | A証      | 39,142 |
|            |       |        |           | 補助動力A証  | 142    |
|            |       |        |           | 補助動力証   | 837    |
|            |       | XC証    | 3,055     |         |        |

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

### JHF レポート 8月号 (No.139)

発行日 1998年7月20日  
 発行 (社) 日本ハンググライディング連盟  
 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F  
 TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局  
 印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。